

単 元	年 組 番	
三年上 場面のようすを思いうかべ、音読しよう 「きつつきの商売」		
氏 名		

○ 場面のようすがつたわるように音読を工夫しましょう。

1 音読記号をつくと、ど、どでどのように読むのかが、一目でわかるようになります。自分の音読記号をつくってみましょう。

〈例 大きく…く ゆっくり…ー 切る…なごく

読み方	記号	読み方	記号
大きく		強く	
小さく		弱く	
ゆっくり		リズムよく	
長くのびす		間をあける	
短く切る			

2 音読しながら、ぴったり合う音読記号を書き入れましょう。

「さあ、いいですか。今日だけのとくべつな音です。お口をどじて、目をどじて、聞いてください。」

みんなは、しいんとだまって、目をどじました。

目をどじると、そこら中のいろんな音が、いちどに聞こえてきました。

ぶなの葉っぱの、シャバシャバシャバ。

地面からの、パシパシピチピチ。

チャレンジシート② きほん

学習日 年 月 日

単元	年組番	7問
三年以上 場面のよつすを思いうかべ、音読しよう 「きつつきの商売」	氏名	

○ 教科書12～15ページの4行目を読んで、次の問題に答えましょう。

1 まつさきにやっ来てたのは、だれでしたか。

() を ぴんと立てた () ()

2 野うさぎは、どのようにしながらメニューから音をえらびましたか。

きつつきのさし出したメニューを () ()

メニューの () をゆびさしながら。

3 きつつきは、野うさぎをどくに立たせましたか。また、きつつきは、どくに止まりましたか。

野うさぎ ()

きつつき ()

4 「きつつきも、うっとうしい聞いてもらいました。「は、どのよつに音読するよつにどいよつ。」「う。」「う。」「う。」「う。」

() () 早口で、楽しそうに読む。

() () 小さな声で、悲しそうに読む。

() () ゆっくりと、気持ちよさそうに読む。

三年上 場面のようすを思いうかべ、音読しよう 「きつつきの商売」	単 元	年 組 番	6問
氏 名			

○ どんな動物がどんなお店を開いたら楽しいと思いますか。考えてみましょう。

<例>

動物 (りす)

動物の特ちょう① (ふさふさのしっぽ)

動物の特ちょう② (クルミを食べる)

お店の名前
りすのそうじや

ふさふさのしっぽで、おうちの前や家の
中をきれいにササツとはきます。

どんなうちでも、一けんニクルミ!
ぜひこの機会にお立ち寄りください。

動物 ()

動物の特ちょう① ()

動物の特ちょう② ()

お店の名前

()

()